

中国：全能神教会の信者の難民該当性について

全能神教会の信者による強制的な勧誘や暴力行為の情報とその信ぴょう性、および信者による海外での事件と逮捕の事例に関する調査依頼に対し、難民研究フォーラムが規定の時間的制約の中で調査したところ、関連しうる情報として以下の情報が見つかりました。

略称：.....	1
1. 全能神教会に関する背景情報.....	2
(1) 全能神教会の起源、当局による違法組織の指定.....	2
(2) 一般的なキリスト教宗派からみた全能神教会.....	3
2. 全能神教会による強制勧誘や暴力行為等、諸外国機関の評価.....	4
(1) 諸外国期間の報告書.....	4
(2) 記事等.....	11
3. 全能神教会の海外での事件と逮捕の事例.....	12
(1) 海外の全能神教会コミュニティ.....	12
(2) 海外での事件と逮捕の事例.....	12
参照：.....	12

略称：

DFAT	オーストラリア外務貿易省 [Department of Foreign Affairs and Trade (Australia)]
IRBC	カナダ移民難民局 [Immigration and Refugee Board of Canada]
OFPRA	フランス難民・無国籍庇護局

1. 全能神教会に関する背景情報

(1) 全能神教会の起源、当局による違法組織の指定

ア IRBC [「クエリー回答 \[CHN200597.E\]：中国：全能神教会 \(CAG\) \(quan neng shen jiao 全能神教；Quannengshen 全能神\)、別名「東方閃電 \[Eastern Lightning\]」、指導者、所在地および活動等の情報；当局による構成員の取扱い；使われている宗教書；すべての構成員が宗教書を入手できるか否か \(2019年～2021年10月\)」](#) (2021年10月14日)

資料によると、全能神教会は1991年に設立され(イントロヴィーネ[Introvigne]、2021年8月21日；Sessional Academic、2021年8月22日)、河南省から始まった(Sessional Academic、2021年8月22日)とある。

...

情報源によると、1995年に中国当局は全能神教会を邪教[脚注2](CSW、2021年3月1日、2頁；Sessional Academic、2021年8月22日)または「カルト」(中米対話基金[Dui Hua]、2014年7月10日)と指定した。

イ DFAT [「出身国情報報告 中国」](#) (2021年12月22日)

全能神教会 (COAG) または東方閃電

3.57 全能神教会 (通称：東方閃電) は1995年11月に禁止された。...

ウ イタリア内務省 [「クエリー回答：中国における宗教的な迫害；全能神教会」](#)
EUAACOI ポータル (2019年3月28日)

全能神教会は、「東方からの閃電」または「東方からの稲妻」とも呼ばれ、マタイによる福音書24章27節の「稲妻が東から西にひらめきわたるように、人の子も現れるであろう」という一節を自分たちに適用することに基づいて定義されており、1991年に中国で誕生したキリスト教千年宗教運動である。この運動の起源は、いわゆる「ハウスチャーチ」にあり、特に1995年に邪教として指定された地下組織「呼喊派」(英語ではシャウターズ [Shouters]) の宗派にある。しかし、全能神教会は、シャウターズとのつながりを否定している。シャウターズは、1980年代後半には早くも中国北部で集会を開いていたが、この集会の中で、後に全能神教会の指導者となる趙偉山が新しい宗教運動を組織し始めた。

エ オランダ外務省 [「出身国情報レポート：中国」](#) EUAACOI ポータル (2020年7月)

全能神教会は、1989年に設立されたプロテスタントをルーツとする教会である。全能神教会の崇拝者らは、イエス・キリストが「全能の神」として楊向彬という中国人女性に受肉されたと信じている。...信者が全能神教会の教義に惹かれる理由

はいくつかある。イエスがこの世に再来したという考えに惹かれる者もいる。また、全能の神の再臨を信じることで、裁きの日に天国に行くことができるという考えに惹かれる者もいる [脚注 218]。

1995年に中国当局は全能神教会を邪教に指定し、2000年に楊と趙維山は米国に移住し、2001年に政治的な庇護を与えられた。趙は全能神教会の事務的な指導者の役割を担っている [脚注 219]。一部の部外者に反して、全能神教会の構成員らは、楊と趙がお互いに恋愛関係や性的関係、夫婦関係などの関係を持っていることを否定している [脚注 220]。

※脚注の詳細は、原文をご覧ください。

(2) 一般的なキリスト教宗派からみた全能神教会

ア [IRBC「クエリー回答 \[CHN200597.E\]：中国：全能神教会 \(CAG\) \(quan neng shen jiao 全能神教；Quannengshen 全能神\)、別名「東方閃電 \[Eastern Lightning\]」、指導者、所在地および活動等の情報；当局による構成員の取扱い；使われている宗教書；すべての構成員が宗教書を入手できるか否か \(2019年～2021年10月\)」](#) (2021年10月14日)

情報筋によると、全能神教会の信仰は「正統派キリスト教」(Sessional Academic、2021年8月22日)、あるいは「キリスト教の聖書教節の(異端的な)解釈に由来する」(チャイナエイド代表 2021年8月25日)という。調査部門とのやり取りの中で、中国の宗教の専門家であり、中国の宗教復興に関する本を出版している外交問題評議会(CFR)の上級研究員は、全能神教会は「メシヤンの分派」であり、その信仰は「キリスト教の主流ではない」(上級研究員、2021年8月18日)と述べている。本調査部門とのやり取りの中で、新宗教研究センター(CESNUR) [脚注 1] 所長でCESNUR誌の編集長であり、複数の論文を執筆し、2020年にCAGに関する本を出版したマッシモ・イントロヴィーネが述べている。は、全能神教会が「それを研究してきた学者たちによって、キリスト教的な新宗教運動と分類されている」と指摘し、「その背景は明らかにキリスト教的だが、主要なプロテスタント教会やカトリック教会では正統とは見なされない」グループと定義している(イントロヴィーネ、2021年8月21日)。本調査部門とのやり取りの中で、中国プロテスタント史を研究しているパリ大学の准教授は、全能神教会は「千年王国主義(終末論、キリストの再臨)に大きく特徴づけられるプロテスタント系の新宗教団体である」と述べた(准教授、2021年8月27日)。

イ [DFAT「出身国情報報告 中国」](#) (2021年12月22日)

全能神教会 (COAG) または東方閃電

3.57 ...全能神教会は秘密裏に活動しているため(発見されないようにするためと、一般的な慣習として)、教会についてほとんど知られていない。全能神教会は少数の外国人研究者から学術的に注目されているが、そのほとんどはこの宗

教に同情的な見方をしている。全能神教会はまた、欧米の主要メディアで、キリスト教団体を引用して教会を批判する記事で報道されることもある。

…

3.61 …DFAT は、プロテスタントの中には、当局が全能神教会の活動を特定し、メンバーを逮捕するのに協力する者もいると理解している。

ウ 記事「[CBS、韓国にきた中国異端「全能神教」を暴く](#)」韓国キリスト教放送局 (CBS) (2018年10月26日)

韓国では、「全能な神様の教会」として活動する全能神教は、中国政府が邪教に指定し、韓国教会の主要教団も異端として規定した中国のキリスト教関連異端である。

…

2. 全能神教会による強制勧誘や暴力行為等、諸外国機関の評価

(1) 諸外国期間の報告書

ア イタリア内務省「[クエリー回答：中国における宗教的な迫害；全能神教会](#)」EUAA COI ポータル (2019年3月28日)

イタリア内務省庇護権に関する国会委員会出身国情報部門の全能神教会に関するクエリー回答は、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報、および暴力行為の情報に関する信ぴょう性評価（下線部分）について次のように記載しています。

全能神教会は中国の政権からいくつかの犯罪で告発されており、特に2014年6月2日に山東省左園市のマクドナルドのレストランで行われた殺人事件では、中国や国際メディアによると、全能神教会の「宣教師」に電話番号を教えることを拒否していた客に対して、女性の拒否に暴力で反応し、女性を殺害するところまで行っていたという。宗教学者のマッシモ・イントロヴィーニョ [Massimo Introvigne] とアメリカの社会学者デビッド・ブロムリー [David Bromley] が行ったその後の調査で、この殺人は全能神教会とは全く関係のない別の宗派によって行われていたことが明らかになった。2013年8月24日、全能神教会はその後、中国の山西省で6歳の少年の郭斌 [Guo Bin] の目をえぐり取ったとして告発されたが、後に学者のホリー・フォーク [Holly Folk] は、この犯罪は子どもの叔母が行ったものであったことを発見した。全能神教会に反対するキリスト教団体はまた、2002年に中国福音フェローシップの「キリスト教の家の教会」の34人の牧師を誘拐した運動を非難している。宗教学者のマッシモ・イントロヴィーニョは、全能神教会に対する告発が根拠のないものであることを再び明らかにした。

全能神教会自身が報じた情報源によると、2011年から2013年の間に、この運動のメンバー30万人以上が逮捕されたという。社会学者のピア・ルイジ・ゾカテッ

リ〔Pier Luigi Zoccatelli〕にとっては、中国の反邪教プロパガンダが運動の弾圧行動を広く報道していることを考慮すると、これらの数字はもっともらしいものである。2014年以降、マクドナルド事件後、同運動のメンバーに対する弾圧が強まり、全能神教会のメンバーの多くが米国、韓国、イタリア、カナダ、フランス、スペイン、そして香港や台湾などへの移住を余儀なくされた。また、中国人以外の改宗も始まっているが、依然として中国人が同運動の大部分を占めている。マッシュモ・イントロヴィーニュによると、教会は信者に布教するように呼び掛けているが、全能神教会運動への改宗は、主に家系を介して行われている。イタリアにおける全能神教会の布教活動は、全能神教会の公式ウェブサイトに掲載されているイタリア語の動画やテレビドラマの放送を通しても行われており、地元の放送局レテ・オロ〔Rete Oro〕でも広く放送されている。全能神教会の公式サイトには、動画と脚本のすべてが全能神教会によって作成されたものであり、出演者はいかなる形でも報酬を受けていないということに言及している。

※下線は、難民研究フォーラムにより追加。

イ DFAT [「出身国情報報告 中国」](#) (2021年12月22日)

オーストラリア外務貿易省の中国に関する出身国情報報告は、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報、および暴力行為の情報に関する信ぴょう性評価(下線部分)について次のように記載しています。

全能神教会 (COAG) または東方閃電

...

3.61 全能神教会は賛否両論ある。殺人や誘拐などの違法行為が複数回メディアで報道されている。メンバーは家族から離脱することを強いられたり、財産を売ってその代金を教会に寄付していると言われている。これらの主張は、全能神教会と一部の信者によって争われている。他の小規模のグループ、特にプロテスタント系の小規模グループは、全能神教会に強く反対しており、教会を説明する多くの情報は、それ自体を情報源としている。それらの情報源は信頼できないかもしれない。 DFAT は、プロテスタントの中には、当局が全能神教会の活動を特定し、メンバーを逮捕するのに協力する者もいると理解している。

3.62 全能神教会メンバーに対する個別の警察沙汰は、組織の構成員であること、あるいはそれに関連した犯罪行為の容疑に関連する場合がある。アメリカの人権研究財団中米対話基金が行った調査によると、全能神教会に関わる裁判は「暴力が伴うことはほとんどない」ということであり、ほとんどの事件は暴力犯罪の疑いではなく、団体の構成員であることにに関するものであることが示唆されている。 中米対話基金は、事件の大半が2012年に予言された終末論と、2014年に山東のマクドナルドレストランで人が殺害された事件 (この事件で教会は関与を否定し、DFAT は情報源から全能神教会自体のメンバーではなく、分裂主義者の手によって起こったと理解している) と重なると報告している。

3.63 全能神教会はよく理解されていないが、中国では明らかに違法であり、広く逮捕されているという報告も信憑性がある。布教することも違法である。布教しようとする者や教会の指導者は、当局の監視の目が厳しくなる。公然と信仰を行うことができず、家族や社会から信者が隔離されていると言われている（しかし、議論の余地はある）ため、社会的な差別を受ける可能性がある。DFAT は、元信者や信者であることを理由に投獄された者が出国管理リストに掲載されるかどうかを確認することができない。DFAT は、同団体に対して批判的な注目を浴びている反邪教キャンペーンにより、メンバーが社会的差別の中程度のリスクに直面していると評価している。

※下線は、難民研究フォーラムにより追加。

ウ オランダ外務省「[出身国情報レポート：中国](#)」EUAACOI ポータル（2020年7月）

オランダ外務省の中国に関する出身国情報報告は、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報、および暴力行為の情報に関する信ぴょう性評価（下線部分）について次のように記載しています。

中国政府は、全能神教会の犯罪的、暴力的、宗派的な属性の疑惑に言及することで、同教会の刑事訴追を正当化している。当局により頻繁に引用される事件の一つには、2014年5月28日に中国東部の山東省の都市である招遠市にあるマクドナルド店舗で起こった殺人事件がある。全能神教会の構成員6人のグループが、女性客の呉碩艶〔ウー・シュオヤン〕に彼女の電話番号を聞いた。彼女が電話番号を教えることを拒否すると、同グループは彼女を悪霊とみなし、殺害した。中国当局は、犯人は全能神教会の構成員であると主張しているが、その後、宗教学の研究者らは、犯人は「全能神教会」の名を冠しているが、楊を「全能の神」と崇める全能神教会とは別のコミュニティの構成員であると究明した。中国当局は、全能神教会の信用を失墜させ、この宗教団体に対する刑事訴訟を正当化するために、このような情報を流布した〔脚注227〕。

全能神教会がその構成員に対して家族との関係を断つように呼びかけているとする中国政府に後押しされる物語も、根拠のないものであることが判明した。2018年、イタリアの研究者が、米国および韓国、フィリピンの全能神教会の信者337人を対象に調査を行ったところ、その全員が中国を脱出する前に同教会の構成員になっていた。回答者の約70%が家族や親族によって改宗したと答えていた。このことは、家族の絆が全能神教会の伝道活動において実際に意味のある役割を果たしていることを示している〔脚注228〕。

※下線は、難民研究フォーラムにより追加。脚注の詳細は、原文をご覧ください。

エ IRBC「[クエリー回答〔CHN200597.E〕：中国：全能神教会（CAG）（quan neng shen jiao 全能神教；Quannengshen 全能神）](#)、別名「[東方閃電〔Eastern](#)

Lightning]」、指導者、所在地および活動等の情報；当局による構成員の取扱い；使われている宗教書；すべての構成員が宗教書を入手できるか否か（2019年～2021年10月）」（2021年10月14日）

カナダ移民難民委員会の出身国情報調査部門の全能神教会に関するクエリー回答は、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報、および暴力行為の情報に関する信ぴょう性評価（下線部分）について次のように記載しています。

5. 活動

情報源は、布教が全能神教会の中心的な活動であることを示している（上級研究員、2021年8月18日；イントロヴィーニュ、2021年8月21日；Sessional Academic、2021年8月22日）。イントロヴィーニュは、新型コロナウイルス感染症以前、CAGは「典型的な布教運動」であり、その「主な活動」は、メンバーが「かなりの時間を割く」、「町から町へ...移動」して「友人を作り、全能神教会信仰について彼らに伝える」ことによって「中国で、密かに行われる対面伝道」だったと述べている（イントロヴィーニュ、2021年8月21日）。

イントロヴィーニュによると、全能神教会の他の活動としては、「一人で、あるいは小グループで、全能神教会の聖典を学ぶ」「聖典を読み、説教を聞き、歌う、最小限だが豊かな礼拝を行う」などが挙げられる（イントロヴィーニュ、2021年8月21日）。Solidarité Chine 代表によると、彼らが話を聞いた。全能神教会の信者は、「少なくとも週に3回は集まり...一緒に祈り、『神』から受け取った聖句を読む」という（Solidarité Chine 代表、2021年9月5日）。リサーチ・アソシエイトは、全能神教会の信者の活動として、「女イエスのメッセージを学ぶための小グループの会合、新規採用者のための伝道活動のためのトレーニング、（多くの）オンラインチャットや礼拝プログラムの運営、独自の賛美歌や文献、礼拝プログラムの制作」を挙げている（リサーチ・アソシエイト、2021年8月29日）。また、Sessional Academic は、全能神教会の活動として「賛美歌を歌い、全能の神に祈り、教会礼拝を行い」、「テキスト（主に証の巻）を読み、編集し、配布している」と述べている（Sessional Academic、2021年8月22日）。全能神教会の信者が参加した「民主的な中国のための」パリでの「イベント」を主催した Solidarité Chine 代表によると、メンバーは「多くの時間をかけて情報やプロパガンダのための資料を準備」し、その中には「上質な」紙に印刷し「写真」が入った、イベントに参加するときに「持ち歩く」「洗練された小冊子」があるという（Sessional Academic、2021年9月5日）。

イントロヴィーニュは、「この5年間で、「ビデオとウェブサイト」が「重要な伝道ツール」となったが、「中国ではビデオは密かにしか流通できず、CAG ウェブサイトにアクセスすることはグレート・ファイアウォールを回避できることを意味する」と述べている（イントロヴィーニュ、2021年8月21日）。

准教授は、「2016年以降、全能神教会の海外メンバーは、難民受け入れに賛成する会議、会合およびデモに積極的に参加した」と述べている（准教授、2021年8月27日）。

准教授によると、全能神教会は「同運動の指導者が育った時代背景から、中国共産党の政治的レトリックや慣行を一部（採用している）」という（准教授、2021年8月27日）。調査部門とのフォローアップ通信において、同じ情報源は、これらの慣行には「メンバー（特に新メンバー）のための批判と自己批判会議...および相互批判」が含まれていると付け加えた（准教授、2021年9月11日）。チャイナエイド代表によると、全能神教会は1990年代初め、「ハウスチャーチ [脚注6] と [三自愛国運動-TSPM] 教会 [脚注7] の...伝統的な正統派キリスト教の信者を...強制的に [教化] し改宗したことで知られている」（チャイナエイド代表、2021年8月25日）。同じ情報源は、「他の非全能神教会信者を全能神教会に改宗させることは、（宗教的に）義務付けられた使命である」と述べている（チャイナエイド代表、2021年8月25日）。フォローアップ通信で、准教授は次のように述べている。

全能神教会は特殊な布教戦略を持っています。それは、普遍的であることを望まず、救いに値する人たちだけを改宗させようとするものです。他のプロテスタント教会の信者は、全能神教会の優先的なターゲットであることを意味しています。同時に、教会は伝道活動を活性化するために競争的なメカニズムを採用することさえあります。伝道活動は現地の指導者にとって重要な業績評価指標となり、改宗者のノルマを達成できなければ、指導者が交代させられる危険性さえあります。（准教授、2021年9月11日）

チャイナエイド代表は、「1990年代に何度か」全能神教会の信者が、「強制的な教化」を意図して、「中国福音同盟（CGF）の有名なリーダーを含む主要なハウスチャーチのリーダーの拉致と誘拐に関与した」 [脚注8] との「信憑性のある報告」をしたと述べている（チャイナエイド代表、2021年8月25日）。カリフォルニア州で登録され、コロラド州と香港に事務所を持つ非営利団体で、「中国の教会と牧師が直面している重要な問題について世界の教会を教育し、中国内外のクリスチャンをつなぐためのパートナーでありプラットフォーム」であるチャイナソース [ChinaSource] によると（チャイナソース、日付不詳）、2002年4月16日、チャイナ・ゴスペル・フェローシップ [CGF] の34人の「重要な教会職員」が全能神教会の信者によって「騙されて...拉致され」、「それまでのキリスト教信仰を捨てさせ」、全能神教会の教えを「受け入れさせよう」とさせられた（チャイナソース、2018年8月14日）。同じ情報源は、中国公安局（PSB）の「関与と捜査」の後、全能神教会の信者はCGFの「教会職員」を「解放せざるを得なかった」と述べている（チャイナソース、2018年8月14日）。しかし、イントロヴィーニュは、全能神教会に関する書籍の中で、「全能神教会による布教目的の暴力行使に関する非難は、どれも証明されていない」と指摘している（イントロヴィーニュ、2020年、116頁）。

※脚注の詳細は、原文をご覧ください。

5.1 2014年の殺人事件

情報筋によると、2014年5月28日、山東省招遠市のマクドナルドのレストラン

で、女性が電話番号を要求してきた集団に提供を拒否したため殺害された（イントロヴィーニュ、2020年、88頁；2014年8月21日付けCTVNews；2014年8月21日付けUSA Today）。イントロヴィーニュは全能神教会に関する著書の中で、「中国の警察とメディアはすぐにこの殺人を全能神教会の仕業とした」と述べている（イントロヴィーニュ、2020年、88頁）。准教授によれば、この事件は全能神教会の一部のメンバーが犯した「伝道の失敗」である（准教授、2021年9月11日）。イントロヴィーニュは全能神教会に関する著書の中で、この「殺人事件」は「全能神教会とは異なる宗教団体によって...行われた犯罪」であり、「中国のプロパガンダによって、国内外において...全能神教会の犯罪に転化された」ことを指摘している（イントロヴィーニュ、2020年、82頁）。准教授は、2014年の女性殺害事件後、全能神教会が「中国で公式に禁止され」、このことも「全能神教会に対する大規模な弾圧につながった」と述べている（准教授、2021年8月27日）。

※下線は、難民研究フォーラムにより追加。脚注の詳細は、原文をご覧ください。

《旧版》IRBC「[クエリー回答 \[CHN104304.E\] 中国：中国の全能神教会 \(Church of Almighty God\) \(また、東方閃電 \(Eastern Lightning\) でも知られている\) に関する情報 \(その歴史、信条、および提供場所\) と政府当局によるその会員の取扱い](#)」refworld (2013年3月11日)

同じく、カナダ移民難民委員会の出身国情報調査部門の全能神教会に関するクエリー回答の旧版では、2021年版には掲載されていない情報として、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報について次のように記載しています。

1. 背景

複数の情報源は、全能神教会は、中国では禁止されていると報じている（2012年12月17日付けFT；米国、2012年7月30日、4ページ；2012年12月20日付けUCAニュース）。

中国における宗教的な自由を促進することを求める米国に本拠のあるキリスト教NGOのチャイナ援助協会（チャイナエイド）によると、中国国内の教会のほとんどすべては、法律に則り、地方当局による東方閃電の厳格な取締りの取組みを支持している。なぜなら、東方閃電は、キリスト教徒の団体であると自称しているが、長い間、他の国内の教会に対して暴力を使って危害を与え、また、迫害を行い、社会の秩序に危険を与えてきたからであると報じている（チャイナエイド、2012年12月20日）。

...

4. 活動

同団体は、信者を募る際に、「非常に攻撃的」（CFAR、日付なし）で「暴力」による戦術を使うと言われている（2012年12月19日付けニューヨークタイムズ；2012年12月17日付けSCMP）。複数の情報源によると全能神教会は、他のキリスト教の団体の信者を自分の教団の信者に変えようとしてい

るという（2012年12月20日付けUCAニュース；2012年12月20日付けShanghaiist；CFAR、日付なし）。二つの情報源によると、同団体は、他のキリスト教徒を改宗させる方法についてマニュアルを作成していると言われている（2012年12月20日付けShanghaiist；CFAR、日付なし）。複数の情報源によるとまた、いくつかのキリスト教団体は、全能神教会の信者が同教会の教義を浸透させようとしていることを非難している（2012年12月20日付けUCAニュース；2012年12月17日付けSCMP）。

いくつかの情報源によると、同団体は、他のキリスト教団体に対して攻撃を仕掛けていると言われている（2012年12月20日付けShanghaiist；中米対話基金、2012年12月17日）。複数の情報源によると、同団体は、誘拐（2012年12月17日付けロスアンゼルス・タイムス；2012年12月20日付けUCAニュース）、洗脳（2012年12月20日付けUCAニュース；2001年11月5日付けタイム；CFAR、日付なし）、拷問（2012年12月20日付けUCAニュース；CFAR、日付なし）を使っていると非難されている。例えば、2002年に、同団体は、34人の中国人キリスト教徒を強制的に同団体の教義に改宗させる為に誘拐を行ったとして告発されている（2002年6月24日付けザ・テレグラフ；2002年5月8日付けSCMP）。

...

5. 当局の取扱い

...

5.1 2012年に発生した当局との衝突の報告

チャイナエイドによると、2012年12月10日、全能神教会の会員が、警察と衝突した。その原因は、会員が、安徽省にある教会との紛争に引き続いて拘留されたからである（2012年12月20日）。チャイナエイドは、同団体の会員は、警察車両を転覆させ何人かの警察官を負傷させたと報告している。ロイターは、同団体の会員は、河南省、陝西省および甘粛省において、時々政府の建物の外で警察と衝突したと報告している（2012年12月20日）。しかし、この情報の裏付けとなる証拠は、当調査部門によって参照された情報源の中には、発見できなかった。

...

オ [OFPRA「法輪功および全能神教会（CAG）運動に対する中国政府の措置について」](#)（2020年2月17日）

フランス難民・無国籍庇護局（OFPRA）の出身国情報調査部門は、全能神教会等に関するクエリー回答において、「機関・学術・メディアかに関わらず、二次資料が拠る情報は、法輪功（または「法輪大法」、<https://faluninfo.net/category/news/>）や全能神教会（CAG）（中国語で「全能神」（別名「東方閃電」）の在米宗教組織のウェブサイト上の文書や記事に基づいて

いる限りにおいて、主として問題となっている宗教運動のものである。」と情報源に関する留意を付し、全能神教会による布教活動や暴力行為に関する情報に関連して、次のように記載しています。

…中国共産党は、諜報活動や組織犯罪、他国の政治家の操作および反体制派の弾圧などの活動を行うために統一戦線をいつも利用している。中国共産党中央委員会の統一戦線工作部という統一戦線の特別部門が、これらの任務のための専門部署として存在する。この部門は、海外の政界やメディア産業に潜入し、在外華人の結社やビジネスグループをつくる。中国政府と関係のあるこれらの団体は、外国の政治家を招いて中国政府関係者と会談させたり、法輪功などの反体制宗教運動の弾圧に好意的な態度を取らせるための中国周遊を企画し、資金を提供している。これらの旅行は、中国の国営新聞で広く報道され、新華社通信の特派員により後追い報道される。これらの著名な訪問者らは、中国政府から表彰を受けている。

…

1.3.2. 全能神教会に対する措置

全能神教会によると、2016年から2019年までに、中国共産党の組織が韓国で信者らを送還させるために全能神教会に反対する12回の抗議活動を行った。2019年夏、ヨーロッパや日本に逃れた信者らの家族が、中国当局から嫌がらせを受けた。

…

2.2. CAG への弾圧

2015年2月2日、2014年5月に山東省のファストフード店で全能神教会運動の勧誘活動を行った際に、電話番号を教えることを拒否した女性を殺害したとして、全能神教会信者である父と娘、張帆〔Zhang Fan〕と張立冬〔Zhang Lidong〕の2人が、裁判で死刑判決を下され、執行された。共犯者3名には懲役7年から終身刑の判決が下された。この殺害事件の後、約1,000人の全能神教会の信者が逮捕されたが、それらの者の中には信者を自殺に追いやったり、家族に信者を殺害するよう扇動した罪に問われた者もいた。また、全能神教会が黙示録の始まりとし、政権転覆を呼びかけた2012年末には、1,000人の信者が逮捕された。

(2) 記事等

ア 記事「[CBS、韓国に来た中国異端「全能神教」を暴く](#)」韓国キリスト教放送局 (CBS) (2018年10月26日)

8回連続報道を通して全能神教の反社会性と異端性を暴露したCBSは、この度の特集ドキュメンタリー「全能神教家族の涙」を通して、全能神教の実状を報じる計画だ。

全能神教の胎動から異端と規定された彼らの教理内容と各種被害事例、そして家族を取り戻すために韓国を訪問した被害者家族の事情まで、韓国社会の奥深く

浸透した全能神教を集中取材した。

今回のドキュメンタリーには、全能神教の異端性を批判しつつ、集団暴行を受け足が折れた中国の家庭教会指導者をはじめ、家族を捨て韓国に渡った娘を探す両親など、多様な被害者たちの肉声を扱った。

…

3. 全能神教会の海外での事件と逮捕の事例

(1) 海外の全能神教会コミュニティ

ア イタリア内務省 [「クエリー回答：中国における宗教的な迫害；全能神教会」](#)
EUAA COI ポータル (2019年3月28日)

…2014年以降、マクドナルド事件後、同運動のメンバーに対する弾圧が強まり、全能神教会のメンバーの多くが米国、韓国、イタリア、カナダ、フランス、スペイン、そして香港や台湾などへの移住を余儀なくされた。

(2) 海外での事件と逮捕の事例

全能神教会の信者が海外で起こした事件についての情報は、本調査回答の時間的制約下で調査した情報源の中からは、見つけることができませんでした。

以上

参照：

(報告等)

イギリス内務省「国別政策及び情報ノート 中国：キリスト教徒、3.0版（仮訳）」入管庁ウェブ（2019年11月）、オンライン：

<https://www.moj.go.jp/isa/content/930005577.pdf>

イタリア内務省難民の権利に関する国家委員会「Riconoscimento facciale in Cina; sorveglianza dei membri della Chiesa di Dio Onnipotente; video di propaganda della Chiesa di Dio Onnipotente. (COI クエリー回答：中国での顔認証、全能神教会員への監視活動；全能神教会のプロパガンダビデオ)」(2021年9月29日)、オンライン：

https://coi.euaa.europa.eu/administration/italy/PLib/20190729_Cina_RiconoscimentoFacciale_ChiesaDioOnnipotente.pdf

_____。「Persecuzioni per motivi religiosi in Cina, Church of Almighty God. (COI クエリー回答：中国における宗教的な迫害；全能神教会)」(2019年3月28日)、オンライン：

https://coi.euaa.europa.eu/administration/italy/PLib/20190328_Cina_Chiesa_di_Dio_Onnipotente.pdf

オーストラリア外務貿易省 (DFAT) 「DFAT COUNTRY INFORMATION REPORT - PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA (DFAT 出身国情報報告-中国)」(2021年12月22日)、オンライン：<https://www.dfat.gov.au/sites/default/files/country-information-report-china-22122021.pdf>

オランダ外務省 「Country of origin information report China (出身国情報レポート：中国)」(2020年7月)、オンライン：
https://coi.euaa.europa.eu/administration/netherlands/PLib/2020_07_MinBZ_NLMFA_COI_Report_China_Algemeen_Ambtsbericht_China.pdf

カナダ移民難民委員会 (IRBC) [クエリー回答 [CHN200597.E]] 「China: The Church of Almighty God (CAG) (quan neng shen jiao 全能神教; Quannengshen 全能神), also known as "Eastern Lightning" including its leaders, location and activities; treatment of members by authorities; religious texts used; whether all members have access to religious texts (2019–October 2021) (中国：全能神教会 (CAG) (quan neng shen jiao 全能神教; Quannengshen 全能神)、別名「東方閃電 [Eastern Lightning]」、指導者、所在地および活動等の情報；当局による構成員の取扱い；使われている宗教書；すべての構成員が宗教書を手に入れるか否か (2019年～2021年10月))」(2021年10月14日)、オンライン：<https://irb-cisr.gc.ca/en/country-information/rir/Pages/index.aspx?doc=458441&pls=1>

_____ [クエリー回答 [CHN106382.E]] 「China: Update of CHN106256 of 23 September 2019 on the Church of Almighty God (CAG) (quan neng shen jiao; Quannengshen), also known as "Eastern Lightning," including its leaders, location and activities; treatment of members by society and authorities (2014-October 2019) (中国：全能神教会 (CAG) (又の名を東方閃電) に関する2019年9月23日付け CHN106256 回答 (リーダー、場所や活動ならびに社会や当局による信者の取扱いなど) の更新 (2014年～2019年10月))」(2019年10月24日)、オンライン：
<https://irb-cisr.gc.ca/en/country-information/rir/Pages/index.aspx?doc=457950&pls=1>

_____ [クエリー回答 [CHN104965.E]] 「China: The Church of Almighty God (Quannengshen), also known as "Eastern Lightning," including its leaders, location and activities attributed to it; treatment of members by authorities (March 2013-September 2014) (中国：全能神教会、またの名を東方閃電の指導者、場所そして活動、また、当局による同教会の会員に対する取扱いについて (2013年3月から2014年9月まで))」(2014年10月16日)、オンライン：
<https://www.refworld.org/docid/546492804.html>

_____ [クエリー回答 [CHN104970.E]] 「China: Religious texts used by the Church of the Almighty God (Eastern Lightning) (中国：全能神教会 (東方閃電) に使用されている宗教的な文書)」(2014年10月14日)、オンライン：
<https://www.refworld.org/docid/546486eb4.html>

_____ [クエリー回答 [CHN104304.E]] 「China: The Church of Almighty God, also known

as "Eastern Lightning," including its history, beliefs, and where it is present; treatment of members by government authorities (中国：中国の全能神教会 (Church of Almighty God) (また、東方閃電 (Eastern Lightning) でも知られている) に関する情報 (その歴史、信条、および提供場所) と政府当局によるその会員の取扱い) (2013年3月11日)、オンライン：<https://www.refworld.org/docid/542a79ae4.html>

フランス難民・無国籍庇護局 (OFPRA) 「Chine : Actions du gouvernement chinois contre les mouvements Falun Gong et Church of Almighty God (CAG) (法輪功および全能神教会 (CAG) 運動に対する中国政府の措置について)」 (2020年2月17日)、オンライン：
https://www.ofpra.gouv.fr/sites/default/files/atoms/files/2002_chn_falungong_almightygod.pdf

(記事)

韓国キリスト教放送局 (CBS) 「CBS、韓国に来た中国異端「全能神教」を暴く」 (2018年10月26日)、オンライン：<https://www.nocutnews.co.kr/news/5051244>